

「佐久市 DX 推進計画」(骨子案) に対する意見募集の実施結果

1 概要

(1) 募集期間

令和4年10月3日(月)から令和4年10月17日(月)までの14日間

(2) 公表方法

- ア 佐久市ホームページへの掲載
- イ 市役所市民ホール行政資料閲覧コーナーに閲覧用として設置
- ウ 情報政策課窓口に閲覧用として設置
- エ 各支所総務税務窓口係窓口に閲覧用として設置

(3) 意見募集方法

- ア 郵送
- イ 電子メール
- ウ ファックス
- エ 持参

2 結果

(1) 提出された意見

2名 5件

(2) 提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

別紙のとおり

「佐久市 DX 推進計画」（骨子案）に対する意見要旨および市の考え方

No.	意見要旨	市の考え方
1	DX を推進する事により、生活の「何が変わり」「どのような恩恵が受けられるか」を、できるだけ具体的に示していく事が結果としてスムーズな DX 推進につながると思いますので、今後の佐久市の DX 推進にあたっては、DX 推進による具体的な変革と目標（到達点）、利便性の向上等を示されながら推進されるよう希望します。	目標（到達点）や効果を計画に記載いたします。
2	非常に煩雑な作業が伴いますが、市民に DX を説明する際の資料等は、可能な限り日本語での表記を加えるといった横文字・カタカナアレルギーへの対応も必要ではないか。	佐久市 DX 推進計画の中に用語集を含めるなど、配慮をした記載といたします。
3	小規模事業者の意識の醸成を続けなければなりません。例えば市の DX 推進により、身近な各種届出等が IT ツールで済む、あるいは IT で行えば利便性が向上する、有利な点があるといった環境を整えてほしい。	住民及び事業者の皆様の利便性が向上するために、オンライン申請等の導入および活用を進めます。
4	高額な国・県の補助金は、申請書類が煩雑で採択までに時間がかかり適時性に欠ける支援制度でなく数年前に実施された市の IT 補助金のような、比較的平易な申請で適時性の高い支援制度の創設と恒常的な実施が必要です。	IT ツールの導入や取り組みに対する相談等、市内の企業・事業者が DX を推進するための支援も検討いたします。
5	「DX」推進において「変革」ではなく「デジタル化」を目的としてしまったり、「BPR」において「組織やプロセ	佐久市の DX 推進における目的を本計画内で明確にいたします。DX は単にデジタル技術を活用して業務の生産性や効率性を改善

<p>スの抜本的再構築」ではなく「担当業務内の改善」レベルで留まってしまったりすることが指摘されるが、本（案）においてはその指摘がいたるところで見受けられる</p>	<p>するだけでなく、自治体経営の在り方や住民との関係、組織風土・文化、組織マネジメント、働き方などを抜本的に改善することであり、市民の皆様の利便性向上を第一義に全庁横断的な変革に取り組みます。</p> <p>また、BPR についても部署内等閉じた業務改善に留まることなく、全庁的な組織およびプロセス等の再検討・構築まで網羅した計画といたします。</p>
--	--